

中小、攻めの新卒採用

関西の中小企業が新卒採用に精力を傾けている。大企業ながらのリクルーターを用意したり、ベトナムの大学に採用枠を整えたりするなど、あまり前例がないものも目立つ。国内市場が細り円高も長引くなか、中小企業はグローバル展開を迫られている。大企業の採用活動が一巡する秋以降、人材獲得を巡る動きはさらに活発になりそうだ。

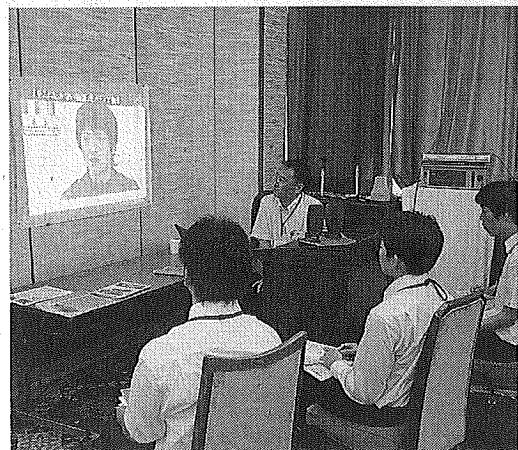
グローバル展開にらむ

機械部品商社のエバオン(大阪市)は今夏、同社としては初めてリクルーターを設けた。従業員は約120人で本来、専任担当を置く余裕はないが、関西の大学を飛び回りパイプをつくることを優先した。

同社は今秋、中国に現地法人を立ち上げる。語学に堪能な学生などを発掘し海外事業に弾みをつけたいという。「会社の存在を印象づけるためには採用活動でも攻めの姿勢が必要」(前西佳信社長)

大阪市信用金庫が取引先の中小企業から今年2

ベトナムで試験 専任の担当設置



中小企業10社が開いた説明会。映像を使い学生にアピールする(7日、大阪市旭区)

月に聞き取った採用調査によると、2012年に正社員を採用すると答えた企業は24・8%。景気

回復は遅れているものの、採用意欲は3年連続で高まった。グローバル展開を意識し、即戦力を求める声も根強い。

計量機器メーカーのタケモトデンキ(大阪市)は13年春、10人ほどの新卒社員を迎える。従業員200人余りで、会社

の規模としては積極採用。ただ、その半数は日本人ではなくベトナム人

を想定している。

同社は今年春、中国に現地法人を立ち上げたばかりだが、さらなる市場を求めてベトナムに近く設計拠点を構える。現地

採用試験を実施。人材を確保し、スムーズな拠点立ち上げを目指す。

現在は中国人留学生1人を受け入れ中。1〜2週間会社や仕事の内容を理解してもらい、その後、独自にまとめたポートを披露してもらう。

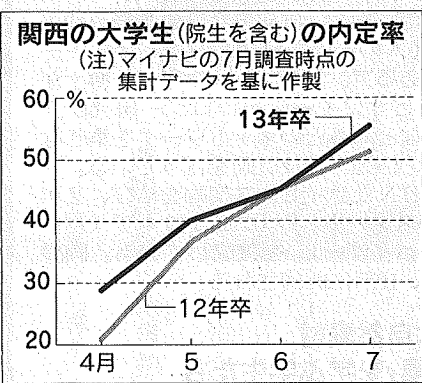
関西の就職内定率に改善の兆しが出ている。就職支援会社マイナビ(東京・千代田)によると2013年春の新卒採用の内定率は、12年春卒を上回って推移中だ。

苦戦する先輩の就職活動を目の当たりにして、学生が中堅・中小に目を向けている。そのため、それでも内定率は全国平均を2割以上、下回っている。「関西の就活は選別の目が厳しい。学生も企業も慎重に見極めよう」としており、内定率が全国を下回る傾向にある(マイナビ)

そのためか、優秀な学生の争奪戦はなお激しい。中小企業の多くは従来、人材確保の

関西内定率、昨年上回り推移

中堅・中小にも 学生目向ける



手段を中途採用に頼ってきたが、会社一丸となってグローバル展開を推し進めるには不十分。「企業風土を含めて身に付けてもらう必要がある、も「受け身」の姿勢を脱却するかが成長のカギを握り

国内市場の縮小と円高の定着で、中小企業も自ら動くことと求められている。採用で

が、会社一丸となってグローバル展開を推し進めるには不十分。「企業風土を含めて身に付けてもらう必要がある、も「受け身」の姿勢を脱却するかが成長のカギを握り

国内市場の縮小と円高の定着で、中小企業も自ら動くことと求められている。採用で

人、東南アジアは17%増には香港線を就航した。一円。改装後は約3割増をえる予定。梅田の店舗の一